

原子炉利用研究者グループ総会 議事録

(1) 日時：平成23年3月4日(金) 12:20～12:40

(2) 場所：京都大学原子炉実験所 事務棟大会議室

(3) 配付資料

1. 原子炉利用研究者グループ平成22年決算報告書
2. 原子炉利用研究者グループ平成23年度予算(案)
3. 原子炉利用研究者グループ幹事名簿

(4) 議事

1. 代表幹事挨拶 [海老原先生(首都大)]

原子炉利用研究グループ間での結束の重要性について説明があった。

2. 平成22年度のグループ活動報告 [義家先生(京大炉)]

幹事の交代について報告があり、新旧幹事会の実施の報告があった。原子炉利用研究者グループのメーリングリストの運用状況について報告があった。メーリングリストへの登録は研究課題、ワークショップ、研究会の申請者を中心に行われているが、専門研究会やワークショップへの参加者、一般の共同利用者の方については、電子メールアドレスが把握できていないため、現状では登録されていないとの報告があった。

3. 平成22年度会計報告 [川端先生(京大炉)]

資料1に従い平成22年度の会計報告がなされた。篠原先生(阪大)により監査が実施されたことが報告され、承認された。

4. 名誉会員の推薦[義家先生(京大炉)]

本年度の名誉会員の該当者は現時点ではないことが報告された。もし該当者がいる場合は後日幹事会に連絡してほしいとの依頼があった。

5. 新幹事紹介[義家先生(京大炉)]

新旧幹事会で決定された新幹事の担当について資料3に基づき紹介され、承認された。これまでは「実験所だより」を担当していた「広報担当」は、今後はメール担当としてメーリングリストへの配信作業を担当してもらうことが報告された。

6. 平成23年度予算案及び活動予定について[増永先生(京大炉)]

資料2に従い平成23年度予算案が紹介され、承認された。平成23年度の活動予定については、1/24の新旧幹事会で話し合われた議事について紹介された。具体的には、今年度からは共同利用者の意見を庶務幹事を通して幹事会で集約すること、実験所の将来計画について次回以降の幹事会で川端先生から説明して頂くこと、プロジェクト研究に資金面、研究面でのプライオリティを確保するなどの優遇措置を行うことによりユーザーのモチベーションを上げる取り組みを行うこと、宿泊所のテレビについては地デジ化への取り組みを行うこと等の計画が紹介された。

7. その他

- ・高宮先生（京大炉）より、研究員宿泊所の環境整備に関して以下の報告があった。
 - ・一部の利用者へ実施したアンケート調査から、宿泊所のテレビのニーズが高いことが把握できている。
 - ・宿泊所の全てのテレビを新規に購入するには予算が不足しているため、アナログ・デジタル変換器を導入することによって地デジ化に対応してはどうか。
 - ・宿泊所の衛生面の改善を要求するユーザーが多いため、月1回程度は専門の清掃業者に外注し、宿泊所の共通施設（風呂、トイレ等）だけでも環境改善に取り組んでどうか。現在、費用の見積もりを行い検討を進めている。
- ・原子炉利用研究者グループの運営資金に関する経緯について義家先生（京大炉）から説明があり、現在の資金が残っている間は寄付や会費の徴収は行わず、資金が尽きる頃に徴収方法などについて検討するという方針を踏襲する旨が確認された。

最後に代表幹事の海老原先生（首都大）より、利用者からの積極的な意見を反映した運営を行うことによって共同利用者グループを盛り上げていくことが重要であるとの挨拶があり、閉会された。

文責：堀、北尾、田中